## 古賀市で独自の道徳教材(ワンヘルス教育実践)が作成されました!!

福岡県では、人獣共通感染症対策をはじめとするワンヘルスの理念の実践に関する課題に取り組むため、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」が公布・施行されています。

この条例では、「市町村は、県の取り組みに協力し、県におけるワンヘルス推進の取組に積極的に参画すること」が求められています。

加えて、<mark>児童又は生徒に対する教育の推進</mark>が示されており、各学校においてもワンヘルスの理 念の普及・啓発が求められています。

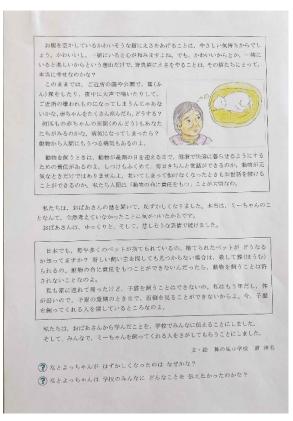
このようなことを受け、福岡県古賀市では、新たに**『ワンヘルス教育実践のための道徳教材』** を作成されましたので、紹介させていただきます。

## ■ 小学校5年生で実施予定の道徳教材

教材名:「捨て猫のみーちゃん」

作成者:舞の里小学校 教諭 浦 清美





主人公の私と友達のよっちゃんは、近くの公園で捨て猫のミーちゃんを飼っています。二人は、公園で、あるおばあさんに出会います。その方は、ミーちゃんを見つけて家に連れて帰ったこと、公園で猫を飼うことが本当に猫にとって幸せなことなのか、そして動物の命に責任をもつことについてなど二人に話します。

二人とおばあさんの会話内容をとおして、動物をよりよく理解し、動物を大切にすることや生命の尊さについて児童が考えを深める教材となっています。

## ■ 中学校1年生で実施予定の道徳教材

教材名:「捨て猫と私」

作成者:古賀東中学校 教諭 長野 博之

古賀市にある福岡県動物愛護センターの職員の方からの話を踏まえ、本教材を作成しました。 主人公マリは、友達のミホと空地の捨て猫を飼うことについて話しています。ミホは、以前犬 を飼うときに母親から「動物と一緒に暮らしたいなら、その先のあなたの責任もしっかり考えて ね」といわれたことをマリに話します。

マリの気持ちの変化と福岡県動物愛護センター職員の話をとおして、動物を大事にすることや 生命の尊さについて生徒が考えを深める教材になっています。





## ■ 道徳教材の活用

各中学校区で作成している年度版の古賀市独自の人権教育副読本「いのちのノート」に掲載 し、各学校で実践が行われる予定になっています。

2022年4月1日 福岡ワンヘルス協議会・事務局